

都島区行政連絡調整会議 議事要旨

令和3年3月17日(水) 15時00分～16時00分
都島区役所3階 第1会議室

1 各行政機関からの報告

都島警察署

- ・資料1～3に沿って説明。
- ・特殊詐欺被害件数は減少傾向にあるが、昨年は、大阪府下では1,108件(被害額約22億4千万円、都島区内では20件(被害額約1,850万円)であった。
今年には既に4件(被害総額約400万円)発生しており、医療費の還付を偽りATMに誘導する事案や、警察を装いキャッシュカード情報を盗む事案があった。啓発を浸透させるため、ケアマネージャーやヘルパーなどと協力していく。
- ・高齢者対象のワクチン接種も始まることから、より一層防犯対策をしていく必要がある。

都島消防署

- ・資料4に沿って説明。
- ・昨年において、都島区は大阪市24区の中で唯一、火災による死傷数がゼロだった。炎上火災についても、地域住民や事業者等の初期消火活動が功を奏して、大事に至らない火災のみであった。
- ・3月7日に大阪市消防記念日表彰を行った。消防行政の協力団体の中から、日ごろの行政への協力などを評価指標とし、表彰している。例年、春の火災予防運動の開催時期に合わせて実施している。

環境局北部環境事業センター

- ・資料5に沿って説明。
- ・これまで、当センターが都島区のごみ収集を担当していたが、3月31日をもって廃止し、4月からは統合先の東北環境事業センターが収集を行う。

水道局東部水道センター

- ・資料6に沿って説明。
- ・酒類を提供する飲食店等に対して、上下水道料金の猶予及び減免措置を行っている。3月9日から行政オンラインシステムでの事前申請を開始しており、4月20日から正式受付を行う。

都島区社会福祉協議会

- ・資料7に沿って説明。
- ・高齢者が外に出る機会が少なく、体力低下が問題となっている。コロナ禍で、密集せずに運動することを目的として、2月末からスタンプラリーを実施しており、参加者には好評である。4月以降も引き続き実施する。
- ・Zoomを使ってオンライン会議を行い、地域コミュニティの活性に取り組んでいる。広報みやこじま3月号にも掲載されている。
- ・食事サービスや喫茶についても、4月以降、徐々に再開する予定。

京橋市税事務所

- ・市・府民税の申告について、市税事務所では4月15日まで延長して受け付けている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市税収入が大幅に落ち込む見込みである。特に、事業者の業績悪化により、法人市民税の減少が多くを占めている。
- ・また令和3年度は、3年に一度の固定資産税の評価替えの年であり、地価の上昇により増収となる見込みであったが、全国的に増加分は据え置くこととなっており、増収予定がなくなるなど、厳しい財政状況である。

健康局こころの健康センター

- ・昨年実績では、自殺者が増加していた。当センターでは、自殺対策の取り組みを進めて行く。

大阪市立総合医療センター

- ・新型コロナウイルス感染症の第三波の状況下で、地域の医療機関と連絡をとりながら、対応している。
- ・十三市民病院が新型コロナ専門病院として患者を受け入れており、当センターでも受け入れを行っている。

都島中学校

- ・3年生は3月12日に卒業式を終えた。1、2年生は、感染対策をした上で、保護者懇談を行っている。
- ・4月から69日間の休校があったが、学業の保障をすべく、感染対策環境を整えたり、電話やオンラインを活用したりすることで、学びを止めないことに注力した。
- ・子どもたちが安全に共同的な学びを得ることの困難さを実感した。

都島工業高校

- ・コロナ禍において、就職試験の1月延期など様々な変更があった。
- ・3月1日に361名の生徒が卒業した。本校は、公立高校の中で、最大規模の高等学校であり、卒業式を2部に分けることで、ソーシャルディスタンスの確保を行った。
- ・合格率が10%未満という難関試験である「第三種電気主任技術者」に、3名の生徒が合格した。全国高等学校ランキングで一位に輝いた。さらに、上級の「第二種電気主任技術者」にも1名合格した。

2 区役所からの報告

- ・資料8に沿って説明。
- ・16日の新規陽性者数は30人だった。
- ・イエローステージ（警戒）に基づく要請がなされている。
- ・現在は、健康局と連携してワクチン接種会場の確保に努めている。
- ・今後、なりすましへの注意喚起など、広報を展開していく。

次回は、4月21日（水）15時～ 開催予定です。
※開催時期については、状況により変更する場合あり。